

第 163 回建築物理研究センター講演会
日本鉄鋼連盟 建築鋼構造研究 関東地区サブネットワーク 共催

日時 2016 年 3 月 11 日（金） 13:30 ～ 18:10 （13:00 開場）

会場 東京工業大学すずかけ台キャンパス
S8 棟（元素戦略研究センター）1 階 レクチャーホール

【プログラム】

13:30 ～ 13:40 開会

13:40 ～ 14:40

講師： 元結 正次郎 氏（東京工業大学 教授）

題目： 東日本大震災時の天井等の落下被害とその対策の研究

講演概要： 東日本大震災では、天井等の非構造要素に広範囲な地域において甚大な被害が発生した。本講演では、天井を中心として、その落下被害の原因について説明するとともに、その被害抑制方法について説明する。

（14:40 ～ 14:50 休憩）

14:50 ～ 15:50

講師： 笠井 和彦 氏（東京工業大学 教授）

題目： 東日本大震災時の東京の超高層建物の揺れ：耐震、制振、免震と観測記録

講演概要： ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（15:50 ～ 16:00 休憩）

16:00 ～ 17:00

講師： 山田 哲 氏（東京工業大学 教授）

題目： 東日本大震災において学校体育館が受けた震動被害の調査統計結果

講演概要： 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、多くの学校体育館が震動被害を受けた。震災直後に行った現地調査に加え、文部科学省に提出された学校施設の災害復旧資料による調査を行い、岩手、宮城、福島、茨城、栃木の 5 県における 1611 棟の学校体育館について、構造ならびに非構造部材が受けた震動被害を調べた。建築年代や構造的特徴などと震動被害の関係について取りまとめた結果を紹介する。

（17:00 ～ 17:10 休憩）

17:10 ~ 18:10

講師： 吉敷 祥一 氏（東京工業大学 准教授）

題目： 東日本大震災時の被害に基づくブレース構造接合部の改善

講演概要： 学校体育館は被災時に防災拠点としての役割が期待され、高い耐震性能が要求される建物である。この種の建物の耐震性能を確保する上でブレースの軸部降伏耐力を保証する接合部設計が重要となるが、東日本大震災においても未だこれらの接合部に破断被害が見られた。本講演では、ブレース接合部の問題点と補強方法の一例を紹介するとともに、同構造形式の梁端ピン接合部において新たに指摘されている問題についても説明する。

18:10 閉会

【会場案内図】

東京工業大学すずかけ台キャンパス S8 棟 1 階レクチャーホール
(東急田園都市線すずかけ台駅より徒歩 5 分)

